

鼻節神社

木々に囲まれたこの小さな神社は、花淵灯台からほど近い保ヶ崎の先端で松島湾の波を見下ろしています。この神社は（近くの塩竈市にある）鹽竈神社の祭神が天から降り立ったと伝えられる場所に、2400 年前につくられたとされています。

また、鼻節神社の近くの海で嵐に巻き込まれた二人の漁師についての伝承も残されています。小船に空いた穴から水が漏れ出し、沈みそうになった漁師たちは必死に鼻節神社の神に助けを求めました。すると驚いたことに、船の浸水は止まり、彼らは無事に岸に戻ることができました。船をひっくり返してみると、穴は巨大なアワビによって塞がれていました。

この時の神の助けに感謝して毎年 7 月に行われる行事では、漁師たちは礁に漕ぎ出して鼻節神社の神にアワビを奉納し、祈りを捧げます。その後、漁師たちが神社に戻ると、アワビは調理されてこの神事を観にきた人々に振る舞われます。